

THE KOBECCO

SEPTEMBER '94 No.401



月刊神戸っ子 9

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
1994年9月1日印刷 通巻401号
1994年9月1日発行 毎月1回1日発行



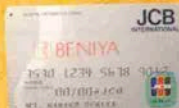
小磯良平
「少女と猫」

秋の素敵創造人。

したたかさと無邪気さを持つている大人の女は魅力的。
そんな「素敵」を創造する。
神戸ベニヤの秋色浪漫コレクション。

Mademoiselle
Dior

ベニヤJCBカードご入会のお勧め!!



※うれしい特典がいっぱいの
ベニヤメンバーズカード受付中、お気軽に
お申し付け下さい。

 **BENIYA**
KOBE OSAKA TOKYO

KOBE ● 本店 ● エルへ店 ● ヘーシェー店 ● ウイング店 ● さんちか店 ● イブ・サンローラン店
● 西神ブレンティ店 ● ハーバーランド店
OSAKA ● 三善街店 ● ミナミ店 ● 近鉄店 TOKYO ● 銀座店 ● 自由ヶ丘店 ● 日比谷店

田崎真珠



幸福は、響きであらう

ヌーベル・ブルジョワジー



 **TASAKI**

本 社 / 〒650 神戸市中央区港島中町6-3-2 TEL. (078)302-3321
東京本社 / 〒107 東京都港区赤坂1-4-1 TEL. (03)5561-8856
札幌・仙台・東京・成田・千葉・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・松山・広島・福岡・大村・長崎

イヤリング(左上)/K18・南洋真珠ゴールド・ブルー&イエローダイヤ・ダイヤ
ブローチ(右下)/K18・南洋真珠ゴールド・ブルー&イエローダイヤ・ダイヤ・トルマリン
デザイン 大島弥生/制作 小畑絵里

私の好きな場所 ポストン・ピーコンヒル、ピアノリサイタルにて 江黒真理

AUTUMN COLLECTION '94



お洒落のための特典いろいろ。
1枚のカードから。

セリザワカード



初秋に映える、フェミニン・グレイ。



serizawa

KOBE

本店
神戸市中央区三宮町3-1-8
TEL.078-331-1695

●レディス●

本店
さんプラザ店
センター街店
さんちか店
P-4ショップ

●メンズ●

メンズセリザワ
KOBE・OSAKA・TOKYO
KYOTO・HIMEJI・GIFU

いつか、夢に見た色



JEWELRY

タジマ

神戸元町2丁目 TEL.078(331)5761

土佐 昌江

イズム

ISMを着る

大阪音楽大学音楽学部ピアノ科卒業。多
久操氏、藤田圭子氏など多くの優れた師
に恵まれる。卒業後、'89年に神戸文化ホ
ールでの、フレッシュコンサート（ピア
ノソロ）に出演。その後、'92年、国際会
議場メインホールにてデュオリサイタル
を開催。現在、主にアンサンブル系統の
伴奏ピアニストとして活躍中。
ピアノソサエティ兵庫会員、神戸パッハ
協会会員。

ディア プリンセス

- 三宮センター街店.....078-332-1847
- 〒650 神戸市中央区三宮町1-6-18
- アステシオ元町店..... 078-322-0761
- 〒650 神戸市中央区元町通1-8-1
- JR大阪駅店.....06-346-7621
- 〒530 大阪市北区梅田3-1-1ギャレ大阪
- 新神戸店..... 078-222-3637
- 〒650 神戸市中央区加納町2-1-5
- 神戸北野店..... 078-222-2816
- 〒650 神戸市中央区山本通2-9-17
- 芦屋店..... 0797-34-2060
- 〒659 芦屋市大原町28-1バルティ芦屋
- 仁川店..... 0798-51-1972
- 〒662 西宮市仁川町2-4-13ペルドルー川111F
- 神戸垂水店..... 078-706-1558
- 〒655 神戸市垂水区神田町2-9松林ビル1F
- 福岡天神店.....092-731-5610
- 〒810 福岡市中央区天神2-7-18

 **ISM GROUP**
神戸市中央区布引町1-1-10
☎(078) 222-3641



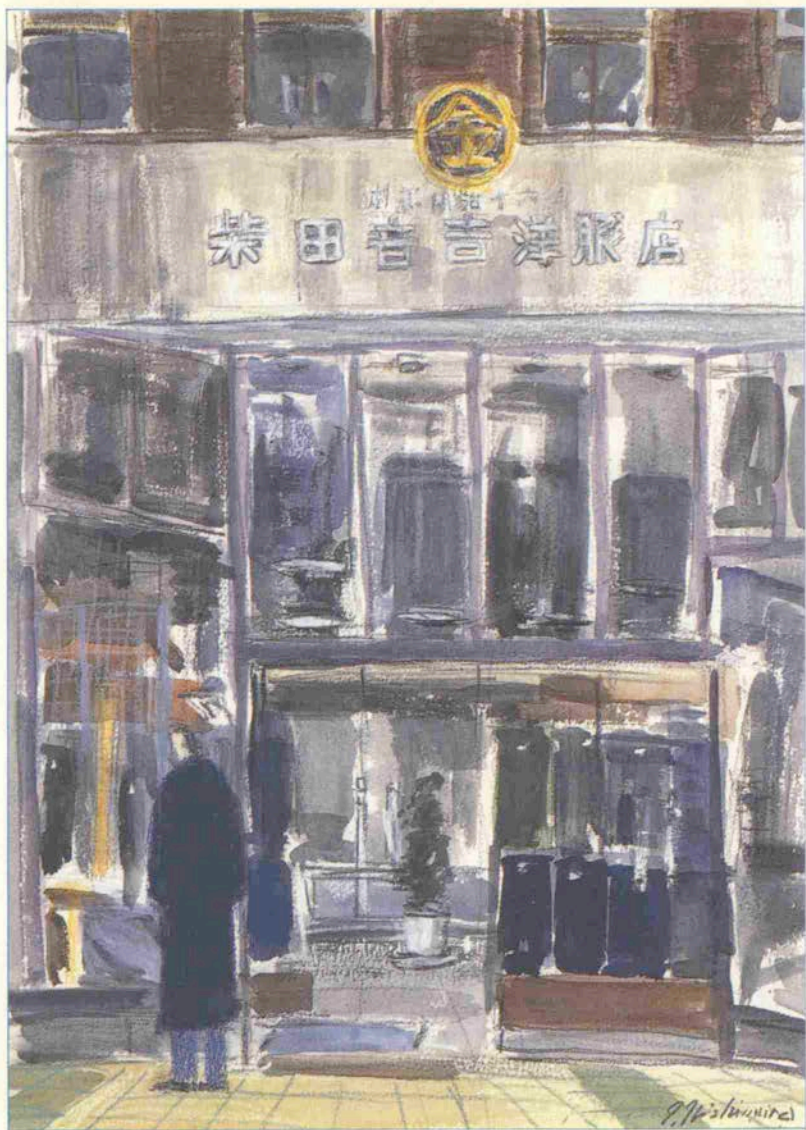
デザイン・タチシマナル
ヌーパ・リットヌーツ / 59,000円
(タチシマナル・タチシマナル・カラマツ)
札幌店 / 近江町ビルリット

Second Cover ● 街の風景 (54)

柴田音吉洋服店

(1994年)

絵／西村 功



第6回 ふれあいフェスティバル

家族新時代——わかちあう喜びを家庭から地球へ——

入場無料
小雨
決行

10月8日(土)・9日(日)

共に10:00～

県立明石公園

サンTV生中継

10/8 土13:00～16:00



ワ
ン
ワ
ン

ウ
ン
ウ
ン



■オープニングセレモニー
(10/8 土10:00～10:30 西芝生広場特設ステージ)
総合オープニング式典。青空いっ
ぱいに響きわたるファンファーレ
と共に華やかに開幕します。

■ふれあいカーニバル

(10/8 土13:00～16:00 陸上競技場)
●総合プロデュース 内海重典(宝塚歌劇団名誉理
事・演出家)
☆ヤングアイドル「大阪パフォーマンズドール」コンサ
ート ☆兵庫県警察音楽隊のマーチング ☆武庫川女子
大学体操部の体操演技 ☆明石長寿院保育園のマーチン
グ ☆勇壮な宝塚太鼓などによる県下の伝統芸能

■ふれあいステージ

(10/8 土10:30～16:00)
(10/9 日10:00～16:00)
西芝生広場特設ステージ)
☆宝塚音楽学校生徒コーラス(10/8)
☆親子で一緒に歌おう日本の童謡
(10/8) ☆ドラゴンボールZショー
(10/9) ☆バンド演奏 ☆大道芸 ☆子
どもたちのモダンダンス、ジャズダ
ンス ☆サイクルオークション



©バードスタジオ/集英社
フジテレビ・東映動画

■ふれあいファミリンピック

(10/8 土, 9 日) 共に10:00～16:00 西芝生広場)
☆おもちゃの病院 ☆ウッドクラフトなどの手作り工
教室 ☆丸太切りコンテスト、家族対抗風船割り、ジャン
ポバールン相撲大会他

■第16回兵庫県民農林漁業祭

(10/8 土10:00～16:00 9 日10:00～15:00)
千畳敷芝生広場周辺
☆ふるさと物産フェアコーナー
☆農林水産業再発見コーナー
☆郷土芸能(太鼓など)の実演

■ユネスコ世界写真展「家族」/

ひょうご・家族新時代フォト展
(10/8 土, 9 日) 共に10:00～16:00 正面入口通路)
☆「家族」をテーマとしたユネスコ写真コンテスト
入賞作品展 ☆家族をテーマとした兵庫県版公募写真展

■明石城「坤櫓(ひつじざるやぐら)」特別公開

(10/8 土, 9 日) 共に10:00～16:00
明石城魚櫓 (西側の櫓)

■エコライフフェア

(10/8 土, 9 日) 共に10:00～16:00
陸上競技場東側通路
☆リサイクルフェア (ガレージセール) ☆環境に
やさしいくらし方コーナー他

■緑花フェア

(10/8 土, 9 日) 共に10:00～16:00
☆花と植木と手づくり腐葉土即売会: 第1野球場
北側 ☆オモト展: 緑の相談所周辺 ☆観葉植物展示
会 ☆園芸教室 (8日) ☆緑の相談コーナー

■ふれあい/ニュースポーツショー

(10/9 日) 10:00～16:00 陸上競技場)
☆家族で参加できるニュースポーツの紹介と体験

交通案内

●JR西日本「明石駅」下車スグ ●山陽電鉄「山陽明石駅」下車スグ

*会場は駐車場がありませんので、ご来場の際には必ず電車・バスをご利用ください。
また、会場内では大変な混雑が予想されますので、二輪車での来場もご遠慮ください。

お問い合わせ

ふれあいの祭典実行委員会事務局

☎(078)341-7711(代)

神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県第2号館

kansin street gallery <64>

——女性・12か月——

第6回 赤木蘇夫二



生田新道に面したストリートギャラリー



白百合



あかぎ そふじ
（創元会評議員）
神戸市西区在住

“ときめきバンクかんしん”は「共感・対話・信頼」を企業理念として、地域の文化・芸術の育成に努めております。

この“かんしんストリートギャラリー”も芸術の香りをほのかに漂わせたアートのスポットとして、本年は「女性・12か月」と題したシリーズで、様々な女性を描いた作品を紹介してまいります。

動物園前の喫茶プリンスで、目が醒めるように美しい女性に出会った。すぐに私は絵のモデルをお願いした。これは、谷間の白百合のように清楚な女性の協力によってできた絵である。



kansin

ふれあいウェブ——ベイシティバンク

関西西宮信用金庫

神戸市中央区下山手通 2丁目12-3 〒650
PHONE (078) 332-5151/Fax (078) 333-9874



Beautiful
eye

わたしとメガネ



森 喬一様

〈日本ネオトロピカル協会理事〉

森 美代子様

〈日本ネオトロピカル協会会長〉

今日がわが時代の
森 美代子

観
自
在
情
殷
心
通
一
通
し
け
ろ
ろ

ファッション神戸のメガネサロン

服部メガネ

神戸・大丸前 ☎(078) 331-1123

素顔のまままで

広川裕子

（劇団 道化座 女優）

カメラ・米田定蔵

9月2日、3日に新神戸オリエンタル劇場で上演された、日中合作公演「小蓮（シヤオリエン）の恋人」。中国人として生まれ、新日本人として生き始めた残留孤児2世の若者たちの、恋と帰郷と家族をめぐる物語で、自分の中にあるふたつの国に揺れ動く彼らの生活を通して、たくましく生きていく人間の姿を生き生きと描き出している作品。主役・真智子を演じた広川さんは、22歳。「同じ世代なので、あまりむずかしく考えずに、ただ感じたままを素直に出せばいいと思います」。お芝居くさくない、素直な感性が、観客の心に届く。

鈴蘭台西高校時代の3年間、演劇部に所属。大学進学と同時に劇団・道化座に入り、今年で5年目になる。「いろいろな劇団の公演を観てまわりましたが、道化座の素朴なところが、肌に合う感じでした。気取らず、自然体で関西弁も使っていますし、何か真実（ほんとう）があるような気がしました」。

肩書は「女優」でいいですか？の質問に、はにかんで笑った。10月13・21日には、中国に渡り、北京、承德、2カ所での同作品公演も予定されている。未来だけを見つめる涼しげな瞳。神戸から世界へはばたく女優としてその一步を踏み出した。

（相楽園にて）



音楽は蘇る思い出のシーン!
映画100年に捧げる

まさに円熟

中田実郎のピアノと & His Orchestra

すてきなダンディ、岡田真澄のトークで
あの、名画の感動を再び!



11月9日(水) 昼/開場2:00 開演2:30
夜/開場6:00 開演6:30

神戸朝日ホール(元・朝日会館)

神戸市中央区浪速町59 電話078-331-6362

入場料(自由席)

前売券/ ¥5,000円 当日券/ ¥5,500円

チケット/前売所

チケットピア 電話06-363-9999 関西ブレイガイド協会 電話06-456-2555
チケットセン 電話06-380-9999 さんちかブレイガイド 電話078-332-1570

お問い合わせ

スタジオバレット 電話078-231-2278 H・A・D 電話078-331-9078

主催

サン・テレビジョン スタジオバレット H・A・D

協賛

神戸市民文化振興財団 月刊 神戸っ子

プログラム

映画を音で染めたヘンリー・マンシーニ

- ひまわり
- ムーン・リバー
- シャレード

・他

音楽をダンスにしたフレッド・アステア

- 昼も夜も
- 今宵の君は

・他

ピアニストを映画にした愛情物語

- トゥー・ラブ・アゲン
- ブラジル

・他

海辺にて…

鈴木 漠 (詩人)

カメラ・米田定蔵

海が似合う人。——といっても、人々の騒めきが聞こえてきそうな海ではなく、静寂につつまれた紺碧の海を前に、ひとり「ことば」を紡いでいる…。そんな姿が思い浮かぶ、詩人の鈴木漠さん。

本誌・先月号発表の「第18回井植文化賞(文化芸術部門)」を受賞。「予想だにしませんでしたので、驚いています」と謙遜されるが、誰もが「運すぎた受賞」と口を揃える。徳島に生まれ、神戸の海運会社に入社。現在も取締役としての業務を続けながら、詩作活動に励む。昭和三十三年の第一詩集『星と破船』以来、十一の詩集を刊行。五十五年の『投影風雅』では、第十四回日本詩人クラブ賞を受賞した。今回は、最新詩集『色彩論』を含む、長年の活動が評価された形だ。

また、連句集『海市帖』(編著は、第二回連句協会推薦図書として表彰された。「対話^{ダイアログ}である連句は、近代文学以来の『自我の塊』を溶かしてくれます。おかげで、独白^{ソロ}白^{ハク}だった私の詩も柔軟になってきました」。

これまでの出版物はすべて活版印刷。漢字・仮名まじり文である現代詩を表現するには、メディアア自体が自己主張しない明朝活字が最適だという。かといって、写真植字では味気なさすぎる…。

「ことば」の海に佇む詩人は、あくまで活字表現にこだわり続ける。

(メリケン波止場にて)



元町誕生120年記念式典



ある集い ■ 元町120年記念事業委員会

はじまりはいつも
この街—力強い新星
元町に誕生！

当委員会は元町商店街連合会と元町東地域協議会（MEW）の若手メンバーによって平成六年三月に結成された委員会です。元町は明治七年五月二十日、兵庫県令によって三村（神戸村、二ツ茶屋村、走水村）が統合され、元町の歴史がはじまりました。平成六年五月二十日誕生百二十年にあたり、今までの元町を見つめ直し、これからの元町をどのように創造していくのかという大きなテーマの足がかりを見つける為に当委員会は結成されました。

当委員会はずっと最初に、「はじまりはいつもこの街」というタイトルで神戸新聞に元町からのメッセージを誕生日である五月二十日にのせました。これに関しては、色々な方から反応が多数寄せられました。次に七月二十六日には百二十年を祝う式典を、神戸市長笹山幸俊様をはじめとする多数の来賓の方々をお迎えし、神戸私立马ちづくり会館にて取り行いました。この式典は通常の単なるお祝いだけの式典ではなく、当委員会の目的にそって、元町への辛口のメッセージを神戸の色々な方に頂戴いたしました。

今後は、色々なイベントを通して多くの方々の意見を頂きながら来年五月二十日まで全員で協力して参ります。〈奈良山 貴土記〉

■ 問合せ先

元町120年記念事業委員会

神戸市中央区元町通

三—十三—一

元町商店街連合会内

☎（〇七八）三九一—〇八三一

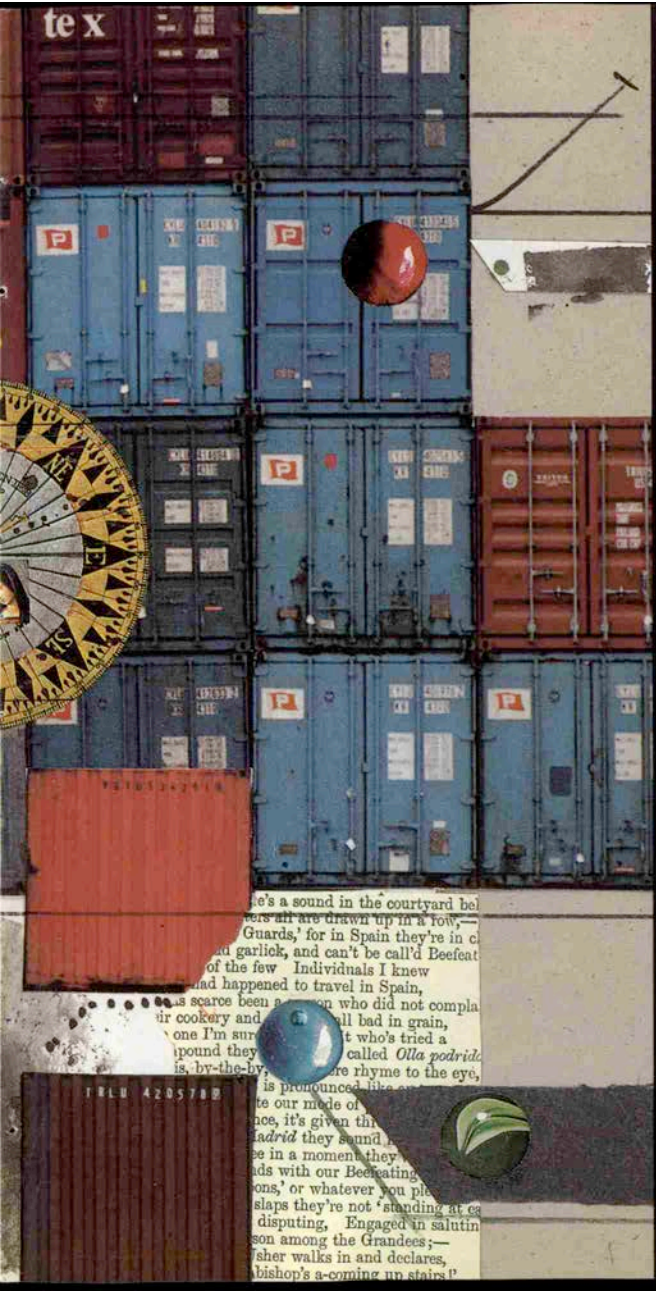


神戸色模様

石坂春生

NO.7 積木するコンテナたち

Paper Collar Collage KOBE IROMOYO





ある集い ■ さんちかもぐら会

40才代ヤングの
感性を育てよう！

「地下街」とくれば「もぐら」。
このユニークな連想でネーミング
された「さんちかもぐら会」。

昭和四十年、神戸地下街株式会社
社元専務取締役（現・株式会社サ
ンサービス社長）森本泰好氏を中
心に、UCC上島珈琲株式会社の
上島達司氏、株式会社アポロの白
井孝之氏らの協力により発足。

さんちかのより一層の発展のた
め、年に四回程経営コンサルタン
ト等を講師として迎え、勉強会を
開いている。

会員数は現在約四十名。構成メ
ンバーは、さんちか商店二代目店
主。四十才代が主流である。

「さんちかもぐら会」では「五十
才まで」と定年がある。常に斬新
なアイデアを取り入れながら、世
の中の流れに柔軟に対応していく
ための「ヤングパワー」あふれる
会である。

初代店主に追いつけ追い越せ、
そしてさんちかのますますの発展
を！と四十才代ヤングメンは張り
切っている。

「新しい感性」は来たる二十一世
紀に向けて、どんな街を生み出し
てくれるのであろうか。誠に楽し
みである。

■問合せ先

さんちか名店会
「さんちかもぐら会」

会長 黄田漢洋
神戸市中央区三宮町

一―十一―

交通センタービル八階

☎(〇七八)三九一―三九六五

FAX(〇七八)三九一―〇九二五



▲K-CAT Open



▼快走るジェットフォイル

スナップ

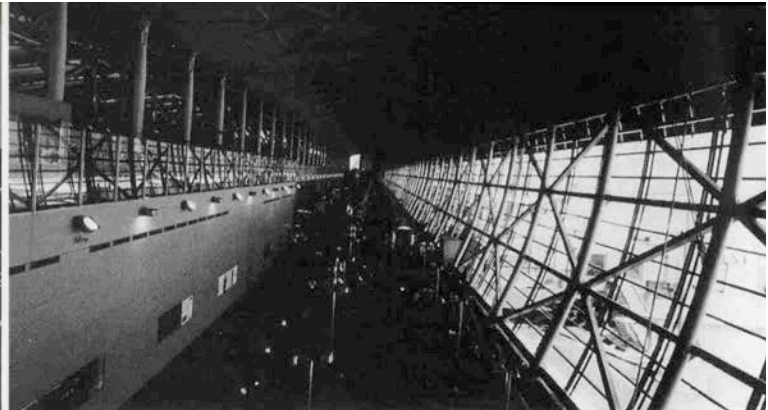
ルート (K-CAT) スタート!

アム便が飛び立った

神戸ポートアイランドの神戸発関西空港行き超高速船「神戸ジェットシャトル」の第1便は、9月4日午前6時に「神戸シティエアーミナル」の(K-CAT)をスタートした。

K-CATターミナル▼





▲関空Open

●コウベ

関空9/4開港 / 神戸マリン

世界で初めての本格的な海上空港・関西空港が9月4日午前0時に開港。構想から4半世紀、約510ヘクタールの人工島に3500米の滑走路を備えた初の24時間空港だ。

グアムからの1番機が午前6時すぎに到着。7時に国際線の出発1番機は日航のサイパンぐ

▼K-CATオープニングフェスティバル





アンヌ・グ 美の扉

〈6〉 月に遊ぶ

榎本 靖子
撮影／米田英男

虫の音に耳をすませ、秋風のわたるすすきの原にその丸い優美な姿の仲秋の名月。

お月さんに兔が住むと信じていた幼い頃、大阪生まれの私は、有馬温泉に毎年夏冬二回泊まっていた。今年のようにうだるような暑さには心身だらけそうになるが、私の記憶する大阪の夏の暑さも相当なもので、天神祭が終わると汗ば治しのため、又、冬は「霜やけ」にならないように温泉に入るため暫く滞在していた。戦前の有馬温泉はひなびた駅を降りると、温泉街まで湯煙りが漂い、鬱蒼とした街並みは人通りも少なく、夜は裸電球の街灯が鈍く光を放ち、温泉情緒たつぷりであったが、都会育ちでまだ幼かった私は、時には怖く寂しく思った。

商業を営む両親は先に帰り、女学校の姉を筆頭に末っ子の私を含め五人姉妹が、何時も行動を共にしていた。お寺の境内を散歩したり、石畳みの階段を駆け降りる姉達に追いつけず、大声で泣いたのを覚えている。都会では見ることの出来ない澄み切った空に輝く月は、子供心にも美しく、そんな夜は嬉しくて体をぐるぐる廻して、スカートの裾が蝶の乱舞のようになる影作りをして遊んだ。

何年か前からお誘いを受けて、月見の宴に京都

や、白浜まで出かけたことがある。それぞれに雅やかに荘厳であった。

有馬温泉「中の坊・雅中庵」の月見の宴では格別の思いを抱いた。私の第二のふる里となった望郷の念からかも知れない。残念ながら有馬温泉は昔の面影は薄れたが、清浄な山の空気に包まれた雅中庵の茶室は、都会の喧噪から離れて四季の風情を心ゆくまでたのしむ句会の宴であった。大女将が自ら嗜しまれた茶室を移築された「有喜庵」それに続く書院風茶室で秋の味覚を存分に楽しんで後、お茶を一服いただき、結構ずくめの和やかなひとときが過ぎると、うす明かりが洩れる障子が開き、柔らかな月の光りに色冴えた夜露を含んだ杉苔の庭に出て月を愛でていると、この静寂な山間いは句うがごとく美しく、人間と自然が一体になって、生きることのつらさも自己の存在すら忘れさせてくれるような悠久の時間に、言葉もなく佇んだ。人工的な日常に馴れ親しんでいる昨今、日本の四季の移ろいをもっと身近に感じたい。今年も仲秋の名月がやって来た。虫の音に名残りを惜しんだあの宴の日を思い出しながら、十三夜のしつらえをした。